

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	高岡市きずな子ども発達支援センター（センター事業）
------	---------------------------

公表日 令和8年 3月 3日

利用児童数 33名 回収数 28

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	0	1	2	・教室が狭いように感じ、トイレの数も1クラスに一つと少なく感じたけれど、普段の活動等の場面を見ているわけではないので十分なのかは何とも言えません。 ・広すぎても目が届かないと思うので十分であると思います。 ・園庭は、もう少し、広くてもいいのかなと思います。	・指導室については、国が定める面積要件（お子様の人数に見合った室内面積）を満たしています。 ブレイルームや園庭、トイレに関しては、共同で使用する場でもありますので、クラス間で活動の予定を共有して使用する時間帯を分け、お子様たちが十分なスペースで活動できるよう工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	4	0	3	・延長保育も導入されるため、ゆとりのある人員配置があると、今後もっといいと思います。 ・教室での活動やブレイルームで遊び、給食中、親子活動などで常に先生方が子ども達や私達のサポートなどをしてくださり、いつもしっかりみてくださっていつて本当に感謝しています。 ・朝バス乗る時に見送りの先生方がたくさんおられる時と1人もおられないときがあって申し送りや、荷物を預ける時に事務の方ではわからない時がありました。	・職員の人員配置については、国の定める配置基準（お子様4名に対し1名の保育士）を満たしています。延長預かりサービスについても、国が定める基準に合わせた人員（職員2名以上）を配置して対応していきます。 ・通園バス出発時刻前後（8時40分～8時45分）については、職員は子どもたちの受け入れ準備や当日の打ち合わせ、事務等の業務に当たっているため、必ずバスの見送り対応を行っているわけではございません。申し送りの内容が緊急性の高いものであれば、お声がけいただければ対応いたします。また、荷物等は通園バス職員に預けてください。どうかご理解のほど、よろしくお願いいたします。 ・今後も職員間での連携を密に図り、お子様が安全に過ごせる環境を整えていくとともに、保護者の皆様とも情報共有をしながらサポートをさせていただきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	1	0	1	・駐車場と玄関の位置が敷地上仕方ないのかも申しれないですが、離れているのと、砂利になっているのが不便です。特に障害のある子どもなので乗り降り等毎度苦労します。 ・椅子の上に、動物の絵が貼ってあって、分かりやすいと思います。	・駐車スペースの足場についてはご不便をおかけして申し訳ありません。研修棟横の敷地については、地域の方からお借りして使用させていただいておりますので、現状の環境で使用していただくことをご理解ください。また、どうしても不都合な状況であれば、センター裏側の外来駐車場をご利用ください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	0	0	2	・清潔で心地良い空間だと思います。1つ毎年気になっていることがあって、子供のトイレの便座が冷たいことです。トイレトレーニングをしている子供にとって冷たさはせっかくの機会を遠ざけている気もするので、何か対策していただけないかと思います。	・子ども用の便座については、市内公立保育園と同様の形をとっており、衛生管理の観点から便座カバーやシートは使用しておりません。現状の対応をご理解ください。
適切な	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1	0	1	・いつも親の方にも寄り添っていただき、すぐにアドバイスをくださるので、さすが先生方はみなさんプロだと思います。 ・言語療法、作業療法で、毎回、自分の子供に合った訓練をしてもらっています。	・今後も職員全体で連携を図りながらより良い療育を行うことができるよう努め、お子様の成長のサポートや、ご家族への支援を行っていきます。また、職員は研修を積極的に受講して自己研鑽を積み、専門性のある支援を皆様に提供できるよう努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	1	0	1		・きずな子ども発達支援センターの支援プログラムにつきましては、ホームページ等で公表させていただいておりますので、そちらをご覧ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	0	0	1		・令和6年度後半より、個別支援計画の様式が変更となり、児童発達支援ガイドラインに示されている5領域に沿った本人支援、家族支援、移行支援、地域支援についての支援目標と支援内容を設定しています。限られた時間の中で多くの説明があり、分かりづらく感じられたのであれば申し訳ありませんでした。お子様の姿や発達段階、保護者の皆様のニーズをもとに支援方針を考えて計画を作成しております。 今後も保護者の皆様には目標設定の意図、支援を進めることで見込まれるお子さんの姿について分かりやすい説明に努めてまいります。疑問に感じられた点があれば、遠慮なくお尋ねください。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	0	0	1		・お子さんに関わる多職種が参画して療育会議を実施し、お子さんの発達段階や保護者の皆様のニーズを踏まえて課題を抽出し、医療訓練、保育の面からの支援内容を共有して療育にあたっております。ご家庭においても関わりの中で疑問や困りごとを感じられた場合は遠慮なく担当保育士までお知らせください。医師、訓練士など専門職とも連携して対応してまいります。

支援の提供	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1	0	1	・計画に沿ってセンターでこんなことをしてみたなど、ちょっとしたことが分かれば、家での関わり方の参考になるので教えて欲しい。計画書の結果だけを数ヶ月後に聞くのではセンターと家での支援がバラバラになりそう。	・日頃の連絡ノートでは、その日のお子様の様子をお伝えしていますが、保育中の限られた時間の中で記載しているため、内容が十分に伝わりきらないところがあるかもしれません。疑問に感じた点、またご家庭での関わりにおいて困っていることがあれば遠慮なく担任までお知らせ下さい。個別懇談や電話懇談において、お子さんの支援目標の確認やご家庭と連携して支援する内容についてもお話させていただきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1	0	4		・お子様の発達段階に合わせ、必要な経験を積み重ねながら、一人一人がステップアップできるよう、職員で活動内容や行事内容を協議して実施しています。日々の活動については、連絡ノートや連絡メール、クラスだより等を通してお知らせしていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	23	3	1	1	・もう少し回数があれば嬉しいです。 ・交流保育に参加させていただきたくさんのお友達と関わる事で子ども私もいろいろな経験をさせていただきました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。 ・もう少し、交流保育の日数があつたらいいと思います。	・希望された方を対象に、年長児3回、年中児2回、年少児1回の交流保育を実施しました。 次年度も、地域園の子どもたちと交流を図りセンターとは違った経験が親子でできればと考えております。学年ごとで回数は設定しておりますが、学年に関わらず回数を調整したいとなど要望があれば、ご相談ください。また、居住地の園との交流を希望される場合もご相談ください。 インクルージョン支援の充実を図るため、交流保育には、なるべく多くの方々に参加していただきたいと考えております。保護者の皆様の参加の意向について確認させていただき、皆さんが参加しやすい方法についても検討していきます。
保護者への説明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	0	0	0		・運営規定や利用者負担については、契約時に、保護者の皆様に説明しております。今後も分かりやすく丁寧な説明に心掛け、利用者及び保護者の皆様にご理解頂けるよう努めてまいります。疑問点があれば、遠慮なくお尋ねください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	0	0	0		・児童発達支援計画は6か月毎に支援目標を見直し、お子様の実態に合わせた計画を作成しています。児童発達管理責任者が支援計画書を保護者の皆様に開示して、支援の方針、長期目標、短期目標、支援目標及び支援内容について説明し、ご家族の皆様と内容を共有し、了承をいただいた上で支援を実施しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	1	0	0		・家族支援として、希望者を対象に年間3クール（各6回）のグループペアレントトレーニング、必要に応じて個別ペアレントトレーニングを実施して、お子さんへの望ましい関わり方について学びの機会を設けております。 また、毎年2月に年中児保護者を対象に就学講演会を開催して、今後の就学に向けた流れや、学びの場について理解を図る機会を設けております。 このほか、親子学習では、食事、散歩、電車体験、クラス活動など、各活動を通してお子様が主体的に活動に向き合えるよう、ご家族がお子様に合わせて関わり方を実践し、その後の日常生活での関わりに生かしていくための学びの機会としています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	2	0	0	・子どもの状況について、細かく報告してくれるのでとても助かります。	・今後もお子様の様子について、行事や毎日の連絡ノート、電話懇談、個別懇談などを通して情報交換を行い、保護者の皆様と共通理解を図ってまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	3	0	0	・本人の口から園でのことを聞くことが一切できないので、面接の機会がもう少し増えるとありがたいです。	・年長児は個別懇談を年2回、年中、年少児は年3回行い、子育ての悩みやお子さんの様子について話し合う機会を設けています。必要があればそれ以外にも随時懇談や電話にて対応を行っています。今後も心配な事やご不明な点があれば、お気軽にご相談下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	0	0	1		・お子様一人一人に寄り添い、安心してセンターに通園していただけるよう、努めていきます。また、保護者の皆様からの相談や申し入れには詳しい聞き取りを行いながら担任に関わらず、所長、育成科長、訓練士など多職種で連携を図って支援していきます。

等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	4	0	2	・きょうだい向け支援は個人的には少なく感じます。	・秋のふれあい学級でのきょうだい児、ご家族の交流の機会は、今後も充実した内容で実施できるよう、企画してまいります。 ・日頃より保護者会には、当センターの療育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。今後も円滑に運営ができるよう、センターとしても協力させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1	0	1		・保護者の皆様からのご相談や申し入れにつきましては、担当者のほか、所長や育成科長を交え、対応等協議しております。今後もしもご相談やご意見がありましたら遠慮なく職員にお申し出ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	0	1	・作業療法や言語療法の日程などは連絡帳で伝えなくても施設間で事前に共有しようと思えば可能ではないかと思います。 ・子どもがいつもと様子が違う時など担任の先生以外にお話してもちやんとその事を知ってくださっているのもしっかり共有してくださっていて安心できます。	・お子様の様子については、保護者の了承をいただいた上で、訓練士と共有を図っておりますが、欠席連絡や訓練日程の調整、変更など、指導に関することは、連絡の行き違いがないよう、お手数ではございますが保護者の方から各部門の担当者まで直接ご連絡いただくことをお願いしております。何卒ご理解のほど、お願い申し上げます。 ・お子さんの体調不良、ケガなど必要な伝達事項に関して職員間で情報共有を行い、迅速な対応ができるよう連携を図っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	1	2	・連絡帳を毎日丁寧に書いてくださり、様子を知れて嬉しいです。ありがとうございます。	・月末にクラスだよりを発行し、通園部門の行事予定や活動概要、必要なお知らせについて、保護者の皆様に周知しております。自己評価の結果については、ホームページでの公表及び事務所前掲示板に掲載し、閲覧が可能です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	1	2	・個別支援計画の開示の話をするときに、人通りが多い玄関でするのが、気になります。個室の部屋でしたほうがいいですね。	・個別支援計画開示の際には、配慮が不足しており、申し訳ありませんでした。個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律に基づき管理を行っていますが、個別支援計画の開示やお子様に関する相談等を行う場合は、個室で対応するなど情報の取扱いに留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	0	0	0		・各マニュアルに沿って、避難訓練や不審者対応訓練のほか、嘔吐や怪我の対応シミュレーションを定期的に行っています。また、感染症対策委員会を月に1回開催し、各部門からの問題点を協議し、感染症の対策を徹底しています。このほか、緊急時の引き渡し訓練を年1回実施しています。各マニュアルに基づいた緊急時対応については、契約時に保護者の皆様に説明しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	0	0	0		・火災、地震、水害等、非常災害を想定した避難訓練を月1回実施しています。訓練を実施して出た課題や問題点については、職員間で協議して改善策を考え、その後の非常時対応に反映させています。また、昨今の災害の現状と照らし合わせながら、訓練の想定や内容を検討し、実際の災害に対応できる訓練内容で実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	0	0	2		・お子様の安全を確保するため、安全計画を策定し、保護者会定例会や契約時に保護者の皆様への説明、周知を行った上で支援を実施しています。 日々の支援やバス運行においては、お子様の状況に応じた見守りや職員配置を行い安全確保に努めております。ケガや事故が発生した場合は、ヒヤリハット報告書を作成し、事故発生時の検証、原因分析、改善策の共有を行い、再発防止に努めております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	0	0	0		・お子様たちを安全にお預かりできるよう努めてまいります。万が一不測の事態があった場合は、速やかに保護者の皆様に状況をお知らせし、迅速かつ適切に対応してまいります。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27	1	0	0		・お子様が安心してセンターに通えるよう職員間で連携を密に図り、一人ひとりのお子様に関わり添った関わりができるよう努めてまいります。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	2	0	1	・特性により感受性が強いので些細な事でも大きく感じ登園を嫌がる事もあります、その都度、保育士の方々が適切に対処してくださっていると感じています。 ・朝、きずなに行くのが嫌というときが、たまにあります。でも、担任の先生が、バス当番でバスに乗っていると、嬉しそうにしてバスに乗って行きます。	・お子様が毎日楽しくセンターに通えるようお子様たちの興味に合わせた活動内容の設定して、遊びの充実を図っております。 また、お子様たちの様子について職員間で共有し、一人ひとりのお子様に寄り添った療育を行えるよう努めております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1	0	0		・お子様一人一人に寄り添い、センターに安心して通園できるよう努めてまいります。 また、保護者の皆様の相談や申し入れについても迅速に対応し、改善が図れるよう、職員間で連携を図り、支援の質の向上に努めてまいります。